

「第48回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」

を開催しました

8月6日に東海三県のみどりの少年団員45名が一堂に集い、「第48回東海地区みどりの少年団(隊)サマージャンボリー」を岐阜県不破郡関ヶ原町の「関ヶ原ふれあいセンター」で開催しました。岐阜県からは、海津市みどりの少年団、揖斐川町の北方小学校みどりの少年団、高山市の本郷小学校みどりの少年団の3少年団23名が参加しました。

今回も日帰りの日程での開催で、午前中は全員で関ヶ原町歴史民俗学習館の川島学芸員による「関ヶ原合戦と関ヶ原の地形」についてのお話しとクイズで楽しく学習することが出来ました。

午後からは2つのグループに分かれて交互に岐阜関ヶ原古戦場記念館の見学と木工クラフトに取り組みました。

古戦場記念館では迫力ある映像に少し驚いた団員もいましたが、午前中のお話で聞いたことが映像でも見ることができ、関ヶ原合戦についての理解が深まったのではないかと思います。

また、木工クラフトでは、本巣市内の家具メーカーの岐阜カリモクの協力により、はじめに家具に使う木の種類や、その木を使ってどのように家具をつくるのか学び、その後に用意していただいた製造過程で出る様々な形や大きさの端材を自由な発想で組み合わせ、思い思いに動物や家具、オブジェなど作りました。

熱中症の心配もあり屋内での活動が中心になりましたが、学習や活動を通じてみんなは、すぐに仲良くなり、団員同士の絆や交流も深まり、夏休みの良い思い出になったと思います。

次回は、愛知県での開催を予定していますので、県内からも多くのみどりの少年団の皆さんの参加を期待しています。



歴史学習の様子



木工クラフト製作の様子



古戦場記念館5階展望室からの見学の様子



集合写真(みどりの少年団勢ぞろい)



[公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆]